

県肝疾患診療連携拠点病院  
山口大学医学部附属病院 肝疾患センター主催

## 平成27年度 肝疾患研修会 開催報告

山口大学医学部附属病院  
肝疾患センター事務局  
海 田 里 菜

山口大学医学部附属病院肝疾患センターでは、山口県肝疾患診療連携拠点病院の事業として、毎年肝疾患診療に携わる方を対象とした、肝疾患研修会を開催しております。

この度、平成27年11月17日（火）にANAクラウンプラザホテル宇部において、平成27年度肝疾患研修会を開催しました。県内医療機関の医師や看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、MSWなど、141名が受講されました。

### 〔第一部〕「一般講演」

日高 勲 肝疾患副センター長を司会として、県（行政）・医師・看護師という、それぞれの立場から、肝疾患診療の現状報告が行われました。

本院の消化器病態内科学の花園先生より、C型肝炎の最新治療について紹介された。C型肝炎の治療はインターフェロンベースの治療からインターフェロンフリーのDAA内服治療へ大きく転換していることが説明され、ダクラタスビル+アスナプレビル併用療法、ソフォスブビル+リバビリン併用療法、ソフォスブビル+レジパスビル併用療法といったインターフェロンフリー治療について紹介されました。

県からは、山口県健康増進課の朽谷様が、肝炎ウイルス検査、陽性者フォローアップ、最新のC型肝炎治療薬の助成対象への追加の説明をされました。

看護師からは、本院看護部の福本看護師より、肝疾患コーディネーターの活動状況・今後の課題についての報告がありました。

第一部では、本院の状況報告のみではなく、行政の立場や他医療機関の肝疾患診療支援についての報告を行うことができました。

### 〔第二部〕「特別講演」

坂井田 功 肝疾患センター長の司会のもと、佐賀大学医学部肝疾患医療支援学講座教授江口 有一郎先生をお迎えして、特別講演を行いました。江口先生からは、肝炎治療について講演をしていただきました。

「肝炎治療を思い留まる深層心理を理解した肝炎治療啓発の取り組み」と題して、佐賀県の肝炎治療の現状、マーケティングや行動科学を用いた肝疾患受検・受診・受療勧奨、肝炎患者の高齢化対策、拠点病院のミッション、佐賀県全体で民間企業・メディアを含む多職種協働による啓発活動、医師からの説明に加え、知人・家族の勧め、看護師・保健師・肝炎コーディネーターからの説明が受療のきっかけとなっていること、未受療者の受療しない理由

等を丁寧に解説していただきました。

質疑応答では、肝疾患コーディネーターの活動において、苦慮している点についてアドバイスをいただき、大変有意義な講演となりました。

この度は、多くの県内医療機関の皆様研修会を受講していただきました。

肝疾患センターでは、これからも医療従事者や市民の方々に向けた研修会を計画していきますので、皆様の参加をお待ちしております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

### 《研修会風景》

